

たんぽぽコ～十～



「こぐまちゃん ありがとう」

わかやま けん作

こぐまちゃんは、お父さんとお母さんのお手伝いをして「ありがとう」と言ってもらいます。嬉しくなったこぐまちゃんはもっとお手伝いをします。ある日音楽隊に気をとられて迷子になってしまいますが、しろくまちゃんのおじさんが家まで送ってくれます。こぐまちゃんは「ありがとう」と伝えます。「ありがとう」を言える素直さや言ってもらえる嬉しさなど、言葉の意味や大切さがやさしく伝わるお話です。



「どうぞのいす」

香山 美子作
柿木 幸造絵

うさぎさんが小さな椅子を作ります。いい考えが浮かんだうさぎさんは、「どうぞのいす」と書いた立て札を建てて木のそばへ置くことに。ある日、ろばさんが「なんて親切な椅子だろう…」と椅子の上にごんぐりを置き、木の下でお昼寝をします。それを見つけたくまさんは、ごんぐりを全部食べてしまいます。でも、「後の人におきのどく」と、代わりにハチミツを置いて帰ります。「どうぞ」と誰かを思う優しさが、どんどん繋がっていく心温まるお話です。



「やさしいライオン」

やなせ たかし作

「アンパンマン」の作者・やなせたかさんの絵本です。犬のムクムクはライオンのブルブルを自分の子どものように大切に育てます。やがてブルブルは優しく立派なライオンに成長し、サーカスの人気者になります。けれどいつも想うのはお母さんのこと。ある晩、お母さんの懐かしい子守歌が聞こえたブルブルは、檻を破ってお母さんのもとへ。犬とライオン、同じ動物でなくても変わらない親子の深い愛情や、人間の身勝手さについても考えさせられる心に残る一冊です。